

連合 政策・制度推進フォーラム 設立総会  
神津会長 挨拶

本日は「連合 政策・制度推進フォーラム」、略称「連合フォーラム」の設立総会に、党派を超えて、多くの国会議員の皆様、秘書の皆様、そして構成組織・地方連合会の皆様にご参加いただきましたこと、心から感謝を申し上げます。

また、本日は慶応義塾大学の井手英策教授にご来賓としてお越しいただきます。先生には様々な形のご教示・ご示唆を日頃より私ども連合にいただいております。本日も、後ほどご挨拶をいただきます。改めて感謝を申し上げます。

今回の連合フォーラム設立にあたりましては、連合の推薦国会議員の皆様方に広く、参加の呼びかけをさせていただきました。

結果として、お手元にお配りしている名簿の通り、152名の国会議員の方々にご賛同をいただくことができました。大変多くの方々のご賛同をいただけたことをうれしく思っております。本当にありがとうございます。

以下、私の立場から、連合運動そのものの趣旨ともからませながら、本フォーラム設立にあたってのご挨拶を一言申し述べさせていただきます。

お手元の趣意書にも記載がある通り、連合は1989年に結成されました。そのもととなったナショナルセンター、労働組合の全国組織は、それまで総評・同盟・中立労連・新産別の四つに分かれていました。紆余曲折を経ていわゆる労働戦線の全的統一を果たすに至ったわけですが、当時、それぞれが自らの運動に大いなるこだわりを持つナショナルセンターでしたから、その統一には、未だに表に出ていない秘話も含めて、一方ならぬ苦勞のあったことは言うまでもありません。私を含めて今、労働界に身を置く者たちは、その間に示された諸先輩の使命感、実行力、そして執念の尊さをあらためて肝に銘じ、さらなる努力を積み重ねていかねばならないと考えるものであります。

さて、その全的統一に至った動機は様々なものがあつたと思いますが、私は二つの側面をあげておきたいと思ひます。

まず一つは、個別の労働運動、個別の労使関係では解決のつかないオ

ールジャパンの問題への力の強化に向けた大同団結という側面です。

1973年の第一次オイルショックにより、日本経済の成長軌道は様変わりとなりました。それまでの労働運動は、戦後すぐの混乱期、そして揺籃期、さらに激烈な闘争至上主義的運動から脱皮し、民主的労働運動を追求する下で、賃上げに重点を置いた生活改善闘争の姿を確立してきていました。いわゆる春闘の年々の成果獲得を基盤に、右肩上がりの高度経済成長と相まって、豊かさの獲得を着実に実現してきたわけです。

しかし、オイルショック以降の経済状況において、その図式だけでは働く者の生活を守れないことは明白となりました。税制や年金・医療等の社会保障、教育など、国の政策制度に関わる問題の比重が飛躍的に高まっていったのであります。

もう一つの側面は、働く者全てのための存在としての連合・ナショナルセンターの実現です。特に、高度成長期には全てが護送船団的に豊かさを増大させていくことであまり顕在化しなかったような問題への対応です。いわゆる格差拡大や貧困の問題への取り組みもその大きな一つです。

連合は故中坊公平座長による評価委員会を立ち上げ、2003年、神野直彦先生が中心となってまとめられた同委員会答申による自らへの覚醒効果をバネとしながら、労働組合という傘に守られていない人たちの思いに向き合う運動をその後今日に至るまで指向し続けてきています。地域の運動強化や、電話労働相談、そして雇用・労働法制全般の取り組み等々、この問題意識を基盤に日々の運動を積み上げてきているのです。

ここで強調申し上げたいのは、今申し上げた二つの側面は、いずれも政治の場での処方箋が確立しないことには根本的な問題解決につながる事柄であるということです。だからこそ私たちは、1993年の細川連立政権成立、そして2009年の政権交代・民主党政権の成立に、文字通り心を躍らせ、大きな期待に胸を膨らませたのであります。

しかし残念ながらこれら重要課題の根本的な問題解決への期待は現実のものとはなりません。むしろその後のわが国社会の状況を、じっくりと目を凝らしてみるならば、事態は依然として悪化の一途をたどっていると言わざるを得ません。

そして昨年秋に、あの混沌の状況、まことに不本意な事態を迎えてしまったのであります。

しかしもちろんですが、私たちはあきらめるわけにはいきません。こ

んなことぐらいでへこたれてなるものか、ということであります。昨年秋の、まことに不本意な事態に端を発した閉塞感をここで断ち切り、将来の日本のあるべき姿を見据えた運動に邁進していかねばなりません。私たちの政策実現の歩みに停滞は許されないのです。

そのために、支援をする議員一人ひとりの皆さまとの関係に重きを置いた新たな枠組みである、この連合フォーラムをスタートさせます。働く者・生活者の視点に立った政策実現の歩みを、強力に前進させてまいりたいと思います。まずは、今国会の最重要課題、そして私たち労働組合にとっての一丁目一番地である「働き方改革」への対応があります。これを目下の最大のポイントと位置づけ、フォーラムとしての活動を進めてまいります。

そして山積する政策課題、個々の分野ごとの様々な取り組みにおいて、連合フォーラムの枠組みを活用していくことで、さらなる機能発揮の実を上げて参りたいと考えます。ぜひともご参加の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

最後にあらためて申し上げたいと思います。この連合フォーラムの名簿に名前を連ねる皆さん方は、私たちにとっては宝のような存在です。

あらためて、連合のめざす「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、共に歩みを進めることをお願いし、フォーラム設立に際してのご挨拶とさせていただきます。

ともにごんばりましょう。ありがとうございました。

以上